

提 案 書 作 成 要 領

「ゆうちょ総合情報システムの小樽貯金事務センターにおける

オペレーションの委託」

株式会社ゆうちょ銀行
小樽貯金事務センター

本調達においては、総合評価落札方式による委託先の適切な選定を目的とし、次に規定する要領に従って作成した提案書の提出を求めるものである。

したがって、提案書は、仕様書に定める要求要件について、応札者自身が満足する能力を有していることを証明する内容を求めるものであり、その内容について評価を実施するものとする。

なお、提案書の作成に当たっては、次の事項に留意すること。

- ・ 提案内容が簡潔に記載されていること。
- ・ 特段の専門的知識を要することなく提案内容を評価できるよう配慮すること。
- ・ 提案内容について、根拠又は参考となる資料を添付すること。

1 提案書の様式

(1) 日本語で記載すること。

(2) A 4 判縦の用紙に横書きとする。ただし、図表等を使用する場合は、必要に応じて適宜の方法で使い分けるものとする。その際、文字等が見づらくなならないように留意する。

(3) 見出し符号

ア 項目を細別するときは、次の項番順序による。

1 ○○○○

(1) ○○○○

ア ○○○○

(ア) ○○○○

A ○○○○

(A) ○○○○

a ○○○○

(a) ○○○○

注 1：上記の項番で不足する場合には、適宜項番を設定し使用すること。

注 2：イ、ロ、ハ・・・の順は用いない。

イ 図表には、上部に次のような番号及びタイトルを付与すること。

図△ ○○○○ / 表△ ○○○○

(4) 目次及びページ番号を付与すること。

(5) 提案書は、2 部提出すること。

- (6) ページ数は、総枚数 200 ページ以下（カタログ、パンフレット等を除く。）とする。
- (7) 下見積書は提案書に含めないこと。

2 提案項目

提案書の記述項目は次のとおりとし、記述項目名称は提案書における各章の見出しとして使用すること。提案に当たっては、仕様書に定める要求要件をすべて満たす内容とし、総合評価基準の各項目の評価観点を踏まえ、具体的かつ明確に記述すること。

記述に当たっては、記述項目ごとに、仕様書該当項目との対応及び総合評価基準に定める要求要件に記述されている各評価観点との対応を記入すること。

(1) 必須要件（仕様書に定める要求要件）

仕様書に定めるすべての要件に対して満足する具体的な提案がなされていることを確認できるように仕様書の項番号に対比させた形式で記載すること。

なお、仕様書に求める機器等については、具体的な商品名等が確認できるカタログ、パンフレット等を添付すること。

(2) 必須以外の要件

次の項目について特に有益で具体的な提案がなされていること。

ア 絶対評価項目

(7) 品質管理、情報セキュリティ、個人情報保護に関する認定

(イ) 財務・経営内容

(ウ) 受託経歴

イ 相対評価項目

(7) プロジェクト管理

(イ) 危機管理体制

(ウ) セキュリティ管理

(エ) 訓練体制

(オ) 業務スキル向上体制

(カ) スケジュール管理

(キ) 事故防止対策

(ク) 銀行業務に関する知識

(ケ) その他

3 提案書の説明会

提案書提出後、提案書提出者による説明会を必要に応じ実施する。

なお、説明会の詳細については、提案書提出後に下記 4 の担当から別途通知する。

4 提案書等に関する照会先

株式会社ゆうちょ銀行 小樽貯金事務センター

総務課 会計・総括担当

担当 其田 幸宏

TEL 0134-33-2213